

平成 15 年第 2 回内分泌攪乱化学物質問題検討会議事要旨

日時：平成 15 年 11 月 14 日（金） 14:00～16:00

場所：経済産業省別館 1028 号会議室

出席委員：井口泰泉、井上達、大島康行、奥野泰由、角田禮子、柏木昭彦、清水 誠、鈴木継美（座長）、住吉好雄、高杉 暹、田辺信介、坪田敏男、遠山千春、中村正久、花岡知之、村田幸雄、森田昌敏、森千里、森田昌敏、安野正之、吉見洋（敬称略）

事務局：滝澤環境保健部長、小林企画課長、安達環境安全課長、三宅環境リスク評価室長 他

- 議題：1 内分泌攪乱化学物質に係る環境実態調査等について
2 臍帯等における化学物質の蓄積・暴露状況調査について
3 平成 15 年度に新たにリスク評価に取り組む物質について
4 その他

議事要旨

- 1 平成 14 年度内分泌攪乱化学物質における水環境実態調査結果、平成 14 年度内分泌攪乱化学物質における大気環境実態調査結果、平成 14 年度内分泌攪乱化学物質における野生生物影響実態調査結果、平成 14 年度内分泌攪乱化学物質における曝露経路調査結果、平成 15 年度の内分泌攪乱化学物質における環境実態調査等（案）及び平成 14 年度水生生物への影響調査結果等について報告。
- 2 ヒト臍帯等における化学物質の蓄積・暴露状況結果について報告。
- 3 平成 15 年度に優先してリスク評価に取り組むべき物質として、36 物質について選定し、このうち文献調査・信頼性評価を進める 28 物質をのぞく 8 物質（アルドリン、エンドリン、ディルドリン、ヘプタクロール、マイレックス、ケルセン、マラチオン及びペルメトリン）については、今後、文献調査や信頼性評価の結果を参考に動物実験を実施することを検討することとした。
- 4 「環境ホルモン戦略計画 SPEED'98」の改訂ワーキンググループについて報告。

以上